東京三弁護士会剣友会の発足

会員　下門 敬史（37 期）

「交剣知愛」の場

「交剣知愛」―剣を交えて愛しむを知る―とは，剣を交える相手を愛しむ（大切に思う）気持ちを持て，又は相手から大切に思われるような稽古・試合をせよという剣道修行の教えである。このような交剣知愛の場として，2011年10月22日，東京三弁護士会剣友会（略称「東三弁剣友会」）が発足した。発足式当日の稽古は，下掲写真にあるように，日本学園高等学校講堂を借り，弁護士，修習生，公認会計士剣道会の方など，総勢23名が参集した。

東京には，裁判所に全国組織である裁判所剣友会，法務・検察に法務剣友会が以前より存在する。東京三弁護士会の会員は，約1万4,000名（2011年4月1日現在）もいるのに，剣道同好の士の集まりがないのをずっと不思議に思いつつ，修習生時代から彼此28年間近く裁判所剣友会や企業の剣道部で稽古をさせてもらってきた。ところが，昨年西山温子会員（63期），宮島朝子弁護士（一弁，64期）及び大貫裕仁弁護士（二弁，42期）から，同じく裁判所剣友会で稽古をされていた片岡義夫弁護士（一弁，28期）と私に東京三会合同で剣友会を作りませんかという話しがあり，あれよあれよと言う間に東三弁剣友会が発足したのである。東三弁剣友会発足の実現は，上記西山会員と宮島弁護士の若手女性剣士の実行力とお骨折りに負う所が大きい。

隠れ剣士参集

会長は片岡義夫弁護士（六段），副会長は大貫裕仁弁護士（錬士六段）及び私（錬士六段），事務局は西山温子会員（参段）及び宮島朝子弁護士（初段）が務め，また，池部敬三郎会員（19期，教士七段）に顧問をお願いした。

会について未だ大々的に宣伝は行っていないが，予想どおり，隠れ剣士は大勢おり，口コミで会員数はどんどん増えて，1月15日現在の会員登録数は37名にのぼっている。稽古会は，月1回のペースで開催しているが，10月から1月までの延べ稽古参加者数は約100名，1回当たり平均25名の参加を得て，毎回活気溢れる，充実した稽古を行っている。毎回可能な限り，範士八段の先生や古武道の師範など，高名な指導者もお招きしている。稽古後は，剣を杯に持ちかえて，交杯知愛の場で盛り上がっている。

会員資格と連絡先

今後は，発足当初からご支援を頂いている公認会計士会をはじめ，関東医師会など異業種の剣友との交流も予定しており，さらには，4月から日弁連事務次長に就任する大貫裕仁弁護士が中心となって，全国の弁護士会の剣友へと交剣知愛の輪を広げることも計画している。

会員資格は，東京三会の弁護士，修習生，弁護士会又は事務所の職員，他の単位会の弁護士，会員の家族，会員からの紹介者となっており，広く門戸を開放している。剣道を続けておられる方，昔剣道をしていた方で再開したい方，剣道を初歩から学びたい方，剣道の稽古を見学したい方など，興味のある方は，事務局（tousanben_kendo@yahoo.co.jp）までご連絡を。